

# 市の民の声



穎娃町 上別府  
西 一英

## 南九州議会へ独り言

私は、平成21年度に自治会長を経験し、南九州市の行事に参加したり、会議などへの出席のために、今まで知らなかった道路を通行したり、市内の施設を利用してたびたび独り言がでます。

車で道路を走っていると、バスやダンパーなどの大型車両が頻繁に通行しており、また、高校生がバイク通学している幹線道路なのに、町境の途中で急に道幅が狭くなり、路面はデコボコ、道路脇の樹木は生い茂り、昼間でも暗い場所を通る

たびに「どうしてこんな危険な道路が何年も改善されないのかな？」と、独り言。

市内の公共施設を利用する回数も増えました。各町それぞれ立派な施設がありますが、なかには老朽化して建て替えを必要とする施設もあります。

3町が合併し南九州市が誕生して3年目になりました。

新事業を始めるとき、新施設を建設するときには、議会で審議し可決しますが、議員各自が、南九州市3町全部が我が地元での共通認識を持つていただき、「南九州市全体の発展のために活躍し欲しい」と、独り言。



知覧町 郡  
桃木かずよ

## 南九州市の一体化を願って

「南九州市」という名称にも馴染んできたこの頃です。議会では山ほどの難題、課題を抱えて市民のためにご尽力いただき感謝しております。

新しい歴史のスタートとともに、市民の市政への関心は以前より高まっているように感じますが、市民と議会が、もう少しお互いに歩み寄る余地があるように思います。

私は現在、知覧特攻平和会館で国内外の多くの方々と関わっています。

「きれいなまちですね」という声をたくさん頂き

市民として喜びと誇りを感じる瞬間です。ただ、昨年度の来客者数の激減には、少々焦りを感じています。元気のない南九州市になつてほしくありません。自然豊かで活力に満ちた、自信を持ってお客様をお迎えしたいものです。

これからは、議員の方々にも特攻平和会館や武家屋敷を、もっと身近に感じて足を運んでいただき、来客者の「声や表情」にも直に触れていた

だけたらと思えます。南九州市の本格的な一体化に向けて、議員の方々には市全体を公正な目でしっかり見ていただき、市民が安心して暮らせるよう、更にご尽力いただきますようお願いいたします。

## 編集後記

「緑」を広辞苑で引くと黄と青の間色とある。あざやかな新緑に幾つもの色を数えながら、心が洗われる思いである。市政3回目の春がめぐってきた。昨年は、流行語にさえなった、国の「ばらまき」により、事

業執行にも、ある程度のうるおい効果がもたらされたように思うが、その反動に一抹の不安を感じてならない。

限られた財政の中で、市民にとって今、何が必要なのか、取捨選択の適正な判断が議会に求められています。

緑に洗われた清々しい目で、今後もしっかりと市政を見つめていきたいと思えます。

(山下つきみ)

## “議会を傍聴してみませんか”

次の議会は**6月15日**開会予定  
手続き簡単!! 本館2階で住所・氏名などを  
書くだけ

### ▼広報編集委員会

- 委員長 峯苦 勝範
- 副委員長 山下つきみ
- 委員 満留 秀昭
- 大藪 秀己
- 菊永 忠行
- 加治佐民生

